

平成25年度 国立江田島青少年交流の家教育事業

## 体験活動ボランティア養成セミナー実施報告書

【趣 旨】 国立青少年教育振興機構のボランティア養成共通カリキュラムによる研修を通じて、子どもたちの体験活動を支援するボランティア活動についての基礎的な知識や技術を身に付ける。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 第1回 平成25年5月25日（土）～5月26日（日） 1泊2日  
第2回 平成25年7月13日（土）～7月14日（日） 1泊2日  
第3回 平成25年9月14日（土）～9月15日（日） 1泊2日

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 全国の教育拠点において教育事業や研修支援事業等の運営協力・指導など多様なボランティア活動を行うために、「法人ボランティア」登録を希望する者。（概ね15歳以上（中学生を除く。）の青年および青少年教育に関心のある者。）

【参加者数】 第1回 15人  
第2回 9人  
第3回 4人

【講 師】 日本赤十字社広島県支部指導員 山縣 圭子  
海上保安庁呉海上保安部職員 吉仲 功喜, 中林 正路, 小川 大輔  
国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 錦織 修一, 杉原 直樹

### 【企画・運営のポイント】

- (1) 研修プログラムを講義と演習を組み合わせたものにし、体験と知識を結びつけることで理解を深め、今後のボランティア活動に活用できる力を身に付けられるようにする。
- (2) 応急手当などの救命救急に必要な知識・技術を身に付けるため、日本赤十字社広島県支部の指導員や海上保安庁呉海上保安部の職員を招聘し、講義・演習を行う。
- (3) 複数回実施することで、法人ボランティア資格を得て子どもたちの体験活動を支援したいというニーズに幅広く応える。

### 【活動の実際】

#### (1) 内 容

- ①【講義】 青少年教育の理解 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 錦織 修一  
(内容) 青少年の社会性の遅れなど、今日の社会における青少年教育の課題や発達段階に応じた体験活動の必要性を理解する。

- ②【講義・演習】救急救命法 日本赤十字社広島県支部指導員 山縣 圭子  
 海上保安庁呉海上保安部職員 吉仲 功喜  
 中林 正路  
 小川 大輔  
 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 杉原 直樹

(内容) 応急手当など救命救急に必要な知識・技術を学ぶ。

- ③【講義】ボランティア活動の意義 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 杉原 直樹

(内容) ボランティア活動の意義について理解するとともに、ボランティア活動における心構えや留意点を学ぶ。

- ④【講義】青少年教育施設におけるボランティア活動の理解 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 杉原 直樹

(内容) 青少年教育施設におけるボランティア活動の内容の理解や登録制度について理解する。

- ⑤【演習】野外炊事 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 錦織 修一  
 杉原 直樹

(内容) 野外炊事を行う上で配慮すること等、野外炊事に対応するための知識・技術を体験的に学ぶ。

- ⑥【講義】青少年教育施設の現状と運営 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 錦織 修一

(内容) 青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解する。

## (2) 日程

### ①第1回

5月25日(土)	10:00		10:30		12:00		13:00		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30	
	受付	開講式	青少年教育の理解		昼食		救命救急法				タベのつどい夕食		ボランティア活動の意義		入浴・就寝			
5月26日(日)	9:00		10:30		14:30		16:00											
	朝食・清掃	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解		野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育施設の現状と運営		閉講式								

### ②第2回

7月13日(土)	9:00		10:00		10:30		12:00		13:00		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30	
	受付	開講式	青少年教育の理解		昼食		救命救急法				タベのつどい夕食		ボランティア活動の意義		入浴・就寝					
7月14日(日)	9:00		10:30		14:30		16:00													
	朝食・清掃	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解		野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育施設の現状と運営		閉講式										

### ③第3回

9月14日(土)	9:00		10:00		10:30		14:30		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30			
	受付	開講式	野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育の理解				タベのつどい夕食		青少年教育施設の現状と運営		入浴・就寝					
9月15日(日)	9:00		10:30		12:00		13:00		16:00											
	朝食・清掃	ボランティア活動の意義		青少年教育施設におけるボランティア活動の理解		昼食		救命救急法		閉講式										

(3) 費用 2,750円

(食費 2,150円 シーツ等洗濯料 200円 傷害保険代 100円 ボランティア保険加入代 300円)



青少年教育の理解



ボランティア活動の意義



救命救急法



野外炊事演習



青少年教育施設の現状と運営



研修プログラム体験 (カプラ)

#### 【成果】

- 野外炊事や救急救命法の演習，更には，講義の中にも体験しながら学ぶ場を設定した。参加者からは，「体験を通して学ぶことが多くあり，具体的に学ぶことができた。」という感想があり，子どもたちの体験活動の支援者としての基礎を身に付けることができた。
- 救命救急法では，日本赤十字社広島県支部の指導員や海上保安庁呉海上保安部の職員を招聘し，講義・演習を行った。応急処置だけではなく安全管理等についても体験的に学ぶことができ，救命救急に必要な知識・技術を身に付けることができた。
- 5月，7月，9月の3回実施した。その結果，本年度新たに28人の法人ボランティアを養成することができた。

#### 【今後の課題】

- 今年度，3回にわたってこの事業を行ったが，受講希望者の日程と開催日程が合わなかったため，受講希望の意思はあったが，法人ボランティア資格を得ることができない希望者もいた。今後は，希望者全員が法人ボランティア資格を得ることができるように，事業の開催時期や回数を調整する等の工夫が必要である。